

一人ひとりに応じた生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりに向けて～QOL向上への取り組み～

神奈川県 川崎市立聾学校

1はじめに

川崎市立聾学校は幼稚部から高等部まであり、幼児・児童・生徒数34名の学校である。

幼児・児童・生徒は、川崎市のみならず、横浜市、相模原市からも通学している。

2研究目的

- ・幼児・児童・生徒一人ひとりが正しい知識を学習し、生涯にわたり自分の健康維持を心がけ、考える力を育てる。
- ・歯科口腔保健授業を通して、基本的医学知識を学び、学校と家庭が一体となって、「健康な心身は自分自身でつくる」という意識を育てる。

3実践内容

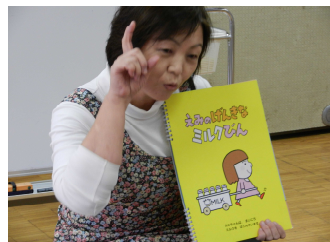
<基本的生活習慣の獲得>

生活習慣についてのアンケートを実施した。その結果、中学生になると就寝時間が乱れることがわかり、就寝時間を自己管理できるように児童、生徒、家庭へ指導した。

また、毎日、同じリズムで生活ができるように、児童、生徒へ歯科口腔保健授業時に指導した。家庭には授業内容の資料を配布した。

<食育>

学校栄養教諭によるワンポイント授業を、幼児、児童、生徒、保護者、教員に実施した。目的は、成長期に食べる必要のあるもの、ないものを知る。成長期に食べる必要のあるものを、普段の食生活に取り入れることができるようになる。そして、特に重要だと思われる栄養素（1年目はカルシウム、2年目はたんぱく質）について知る。



平成23年度 幼稚部



平成24年度 中学部

<基本的生活習慣の獲得><食育>に関しては、児童、生徒、家庭、教員が知識をもち、共通理解することが大切である。このため、学校保健委員会で意見交換を行ったり、児童、生徒向けの授業、家庭への資料配布、教員向けの授業を繰り返し行ったりした。

<口腔保健指導>

幼稚部・小学部:

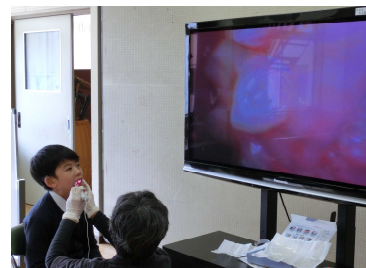
歯探しゲームを用い、歯の形態や自分の歯の本数を知る。また、染め出しを行い顎模型に染まった部分を記録し、みがきにくい部分を理解する。



平成24年度 幼稚部 歯探しゲームの様子

中学部・高等部:

口腔内を小型カメラで見て自分の歯並びを確認し、みがき残し部位を理解する。



平成24年度 中学部 口腔内の小型カメラで自分の歯を見ている様子